

ソーシャルアートの芸術祭 「のせでんアートライン妙見の森 2015」開催決定！ “つながりのアート”をテーマに 社会を変えるソーシャルアート作品やアートプロジェクトを募集

〈のせでんアートライン妙見の森 2015 について〉

第1回目の「のせでんアートライン妙見の森 2013」は、2013年9月～11月にかけて、能勢電鉄株式会社の開業100周年記念事業の一環として、同社の単独主催で開催しました。

第2回目となる今回の「のせでんアートライン妙見の森 2015」は、兵庫県、大阪府並びに川西市、猪名川町、豊能町、能勢町の一市三町、地域住民、団体およびそれらの地域を鉄道で結ぶ能勢電鉄が、府県の境を越えて相互に連携して行う協働事業として開催します。

各々の地域が抱える定住人口の減少やまちの衰退化という共有の問題に対して、互いに協力し「のせでん沿線地域の魅力の再発見と新たな魅力の創出」をコンセプトに、現代アートを中心とした芸術祭を開催し、新たな地域間連携と地域活性化のきっかけづくりを行います。

また、準備から運営までの長期間の協働の中で地域住民同士が深く交流し、新たな連帯意識や新たな活動への意欲が生まれ地域が活発化することも目指します。

一般公募では「社会を変える、つながりのアート」を作品テーマに、アートで社会を変える、デザインで意識を変える、クリエイティブで未来を変える、そのような志のもと、よりよい社会、地域、環境へとつながる作品、映像、またはプロジェクトの提案を広く募集します。

〈のせでんアートライン妙見の森2015 開催概要〉

1. テーマ “つなぐ”

のせでん沿線の「人と人」「人と地域」「地域と地域」、それらを様々な人の出会いの舞台となるアートイベントの開催により、**『新たな関係を築き、互いに理解を深め、つながりを強くしたい』**という思いを込めています。

アートは、「人と人」、「人と地域」を心理的に結び付ける精神的基盤と考え、鉄道はそれらを実質的に結び付ける社会基盤です。その両者と沿線地域のコラボレーションにより、歴史、文化、社会、経済、教育、情報、人間、動物、自然など森羅万象をつなぎ、あらゆるものが行きかい、交わり、融合し、変化を生み出すことを期待します。

2. 会 期 2015年10月10日(土)～11月23日(月・祝) 45日間

3. 会 場 能勢電鉄の各駅と沿線地域(川西市・猪名川町・豊能町・能勢町)

【能勢電鉄鉄道線・鋼索線の駅構内、妙見の森一帯(屋内外)、能勢妙見山、沿線地域の公共施設(屋内外)、観光施設(屋内外)、空き家、空き店舗等】

4. 展示内容 (1) 招待アーティスト[15名(組)]による作品展示(予定)
(2) 公募アーティスト[15名(組)]による作品展示(予定)
(3) ワークショップによる地域協働制作
(4) のせでん沿線地域の学校、大学等による作品の展示

5. 作品公募について

- (1) 募集内容 **作品のテーマは「社会を変える、つながりのアート」**

アートで社会を変える、デザインで意識を変える、クリエイティブで未来を変える、そのような志のもと、よりよい社会、地域、環境へとつながる作品、映像、またはプロジェクトの提案を広く募集します。

1. ソーシャルアート作品部門
2. ソーシャル映像作品部門
3. ソーシャルアートプロジェクト(社会彫刻)部門

【各部門5組ずつ。全部で15組を募集します。】

- (2) 募集期間 2015年3月16日(月)～5月8日(金)

- (3) 公募要項 別紙「公募要項」をご参照ください。

6. 主催 のせでんアートライン妙見の森 実行委員会

【委員長】

田辺真人(園田学園女子大学名誉教授)

【副委員長・エグゼクティブアドバイザー】

三好庸隆(武庫川女子大学教授)

【アートプロデューサー】

藤井達矢(武庫川女子大学准教授)

【監事】

多木和重(兵庫県阪神北県民局長)

【委員】

武友憲重(大阪府池田土木事務所長)

大塩民生(川西市長)

福田長治(猪名川町長)

田中龍一(豊能町長)

山口 禎(能勢町長)

崎田喜美枝(学校法人関西女子学園宝塚大学理事長・学長)

城南雅一(能勢電鉄株式会社取締役社長)

7. 共催 能勢電鉄株式会社

8. 後援 国土交通省近畿運輸局(予定) [その他申請中]

9. お問い合わせ先 「のせでんアートライン妙見の森 実行委員会」事務局(能勢電鉄株式会社内)
TEL 072-792-7716(平日9時00分～17時30分)
FAX 072-792-7730

【ニュースリリース配布先】 兵庫県政記者クラブ、川西市政記者クラブ、豊中記者クラブ、宝塚市政記者クラブ、三田市政記者クラブ、関西レジャー記者クラブ、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

【参考】 「のせでんアートライン妙見の森 2013」 出展作品

- (1) 作品名：北極星入口駅
作者名：鈴木 貴博



- (2) 作品名：ブランコプロジェクト
「山上のブランコ」
作者名：友井 隆之



- (3) 作品名：缶 WAVE・・・あ、北斎！
作者名：水垣 尚、岡本 和喜



- (4) 作品名：
のせでん “デコるヘッドマーク”
プロジェクト
(ワークショップ)
作者名：宝塚大学 造形芸術学部



のせでんアートライン妙見の森 2015 公募要項

のせでんアートライン妙見の森 実行委員会

〈のせでんアートライン妙見の森 2015 について〉

第1回目の「のせでんアートライン妙見の森 2013」は、2013年9月～11月にかけて、能勢電鉄株式会社の開業100周年記念事業の一環として、同社の単独主催で開催しました。

第2回目となる「**のせでんアートライン妙見の森 2015**」は、兵庫県、大阪府並びに川西市、猪名川町、豊能町、能勢町の一市三町、地域住民、団体およびそれらの地域を鉄道で結ぶ能勢電鉄が、府県の境を越えて相互に連携して行う協働事業として開催します。

公募作品のテーマは「社会を変える、つながりのアート」

アートで社会を変える、デザインで意識を変える、クリエイティブで未来を変える、そのような志のもと、よりよい社会、地域、環境へとつながる作品、映像、またはプロジェクトの提案を募集します。

アートは、「人と人」、「人と地域」を心理的に結び付ける精神的基盤と考え、鉄道はそれらを実質的に結び付ける社会基盤です。その両者と沿線地域のコラボレーションにより、歴史、文化、社会、経済、教育、情報、人間、動物、自然など森羅万象をつなぎ、あらゆるものが行きかい、交わり、融合し、変化を生み出すことを期待します。

各々の地域が抱える定住人口の減少やまちの衰退化という共有の問題に対して、互いに協力し「のせでん沿線地域の魅力の再発見と新たな魅力の創出」をコンセプトに、現代アートを中心とした芸術祭を開催し、新たな地域間連携と地域活性化のきっかけづくりを行います。

また、準備から運営までの長期間の協働の中で地域住民同士が深く交流し、新たな連帯意識や新たな活動への意欲が生まれ地域が活発化することも目指します。

〈開催概要〉

○テーマ “つなぐ”

のせでん沿線の「人と人」「人と地域」「地域と地域」、それらを様々な人の出会いの舞台となるアートイベントの開催により、『**新たな関係を築き、互いに理解を深め、つながりを強くしたい**』という思いを込めています。

アートは、「人と人」、「人と地域」を心理的に結び付ける精神的基盤と考え、鉄道はそれらを実質的に結び付ける社会基盤です。その両者と沿線地域のコラボレーションにより、歴史、文化、社会、経済、教育、情報、人間、動物、自然など森羅万象をつなぎ、あらゆるものが行きかい、交わり、融合し、変化を生み出すことを期待します。

○会 期 2015年10月10日（土）～11月23日（月・祝） 45日間

○会 場 能勢電鉄の各駅と沿線地域（川西市・猪名川町・豊能町・能勢町）
【能勢電鉄鉄道線・鋼索線の駅構内、妙見の森一帯（屋内外）、能勢妙見山、沿線地域の公共施設（屋内外）、観光施設（屋内外）、空き家、空き店舗等】

○主 催 のせでんアートライン妙見の森 実行委員会

○共 催 能勢電鉄株式会社

〈公募について〉

○公募作家数 15名(組)

○募集内容 **作品のテーマは「社会を変える、つながりのアート」**

アートで社会を変える、デザインで意識を変える、クリエイティブで未来を変える、そのような志のもと、よりよい社会、地域、環境へとつながる作品、映像、またはプロジェクトの提案を広く募集します。

1. ソーシャルアート作品部門
2. ソーシャル映像作品部門
3. ソーシャルアートプロジェクト(社会彫刻)部門

【各部門5組ずつ。全部で15組を募集します。】

美術作家にかぎりません。社会を良い方向に変える作品を募集します。

○交通費、制作費について

交通費および制作費として、7万円を上限として支給します。

予算案を「公募作品応募用紙」に記入してください。

○応募、制作について

- ・出展者の年齢、国籍、プロ、アマチュア、個人、団体などは一切問いません。
- ・作品のジャンル、手法、素材、形態、サイズなどは自由です。
- ・作品の展示場所を想定して応募してください。なお、作品の展示場所については、ホームページ(<http://noseden-artline.com/>)をご参照ください。(3月中旬以降に掲載予定)
- ・作品の展示場所は、必ずしも希望通りになるとは限りません。
- ・すでに発表された作品の応募はご遠慮ください。また、第三者の著作権や肖像権、公序良俗に反するものは対象外です。
- ・作品の制作、展示にあたっては、原則的に自力で行ってください。ただし、サポートが必要な場合は、別途相談に応じます。
- ・開催期間中、作品の説明を行うよう努めてください。また、作品のメンテナンスも出展者の責任で行ってください。
- ・会期終了後は、自力で作品を撤去し、展示前の状態に復することを基本とします。
- ・作品の制作から撤去に至る期間、地域の住民や関係スタッフ等との友好的な交流に努めてください。
- ・開催地域の近隣には宿泊施設がないため、宿泊が必要な場合は別途相談に応じます。
- ・映像部門はウェブサイトでの公開などに同意ください。(著作権は作家に帰属します)

○第一次選考

アートプロデューサー藤井達矢(武庫川女子大学准教授)を中心に、のせでんアートライン妙見の森実行委員会で選定します。

選考結果は、2015年6月上旬頃にEメール等で通知します。

○第二次選考

第一次選考の入選者は6月中旬に開催予定の公開プレゼンテーションに参加いただきます。持ち時間7分以内でそれぞれの作品、プロジェクトを説明してください。

公開プレゼンテーションの日程は、後日ホームページでお知らせします。

○応募方法

「公募作品応募用紙」に必要事項を記入し、過去の自身の作品の写真（1～2枚）を添えて、下記までEメールまたは郵送で申し込んでください。

住 所：〒666-0121 兵庫県川西市平野1丁目35-2

宛 先：能勢電鉄株式会社内 「のせでんアートライン妙見の森実行委員会」事務局

E-mail：noseden-artline@hankyu-group.jp

応募期間：2015年3月16日(月)～5月8日(金) ※郵送の場合は当日消印有効

問合せ：応募に関する問い合わせは、Eメール(上記E-mailアドレス)でお願いします。

○現地見学会

日 時：4月4日(土)、5日(日)、各日とも午前10時集合（所要時間は約5時間）

集合場所：能勢電鉄 妙見口駅前

見学内容：主に開催場所となるフィールドを見学していただきます。

申し込み：3月31日(火)までに、氏名、連絡先、見学希望日を記載し、Eメール(上記E-mailアドレス)で申し込んでください。

(注) 案内・説明が必要な方は、必ず現地見学会に参加してください。
やむを得ない事情により参加できない方は、別途相談に応じます。

以 上

のせでんアートライン妙見の森 2015 公募作品応募用紙

応募者名 (グループの場合は代表者名を記入)	生年月日 (グループは結成年月)		
ふりがな 氏 名 (男・女)	代表者 西暦	年	月 日
グループ名	グループ 西暦	年	月
住 所		出身地	
〒			
電話番号 (常に連絡可能な番号)		F A X 番号	
Eメールアドレス		携帯メールアドレス	
簡単なプロフィール (学歴、活動歴、受賞歴など)			
応募作品の内容 (具体的に)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品の名称 (仮題で可) ・ 作品／プロジェクトの内容 (必要な場合、別紙添付 1000 文字まで) ・ 予算案 			
展示を希望する場所 (具体的に希望場所があれば場所名)			

(注) ①過去の作品の写真(1~2枚)を添付して申し込んでください。
 ②応募用紙は、1作品につき1枚とします。